

### 守ろう多摩市の生物多様性

写真はすべて多摩市生きもの調査隊員が今年度に市内で撮影したものです



- 2 生物多様性について一緒に考えましょう!
- 3 子ども・若者関連情報
- 4 いきいきシニア、わくわくスマホ
- 5 求人・募集、市民参画、市政その他
- 6・7 こどもまんなかについてどうということ?
- 8 多摩ニュータウン再生プロジェクト第12回シンポジウムを開催します
- 9 講座・催し物
- 10 税、健康だより
- 11・12 2月17日(月)から住民税(市民税・都民税)の申告受け付けが始まります!

### 市長コラム 多摩の風 第130回

いま、別れの時が飛び立とう  
今から五年前。新型コロナウイルス感染症で小・中学校は一斉休校となり、歌やエールで感謝や旅立ちを表現する卒業式は消えました。  
子どもたちにとって人生の区切りとなる式が簡素化され、お世話になった先生や友人たちと別れの挨拶をする十分な時間がとれなかったのです。  
さる1月13日、パルテノン多摩大ホールで二十歳の祝賀祭が行われました。毎年、市内の小・中学校を卒業した皆さんで実行委員会を作り、司会進行含めすべて手作りで行っています。晴れ着姿の二十歳を迎えた皆さん約900人近くが集まり、私や議長の後、自分たちで企画したクイズなどの催しへ。  
中学生だったときに公開された映画やドラマのタイトルをあてるロケ地クイズや当時、流行った音楽のイントロクイズなどで盛り上がっていました。  
サンリオピューロランドからハローキティも駆けつけ、抽選番号を引くというキューピット役で登壇。会場は興奮の渦に。  
私が感動したのは長松剛史実行委員長の挨拶と「旅立ちの日」に「の大合唱でした。長松さんは卒業式が突如として大幅に縮小されたことに触れ、そのとまどいの胸中と二十歳の祝賀祭に込めた想いを吐露されました。「いま、別れの時、飛び立とう 未来信じて 弾む若い力信じて このひろい このひろい 大空に(旅立ちの日に) 作詞 小嶋登、作曲 坂本浩美」それぞれのパートの歌声がホールに響き会場全体が一つに。私の頬にも涙が...

(多摩市長 阿部裕行)